

米国モンタナ州ビジネス環境視察ミッションスケジュール（予定）

2026 年 8 月 19 日時点

ジェトロ・サンフランシスコ事務所 作成

訪問都市：米国・モンタナ州ボーズマン

日	曜日	時	スケジュール
2026/9/28	月	7:45	Montana State University EngineWorks へ移動
		8:00	ボーズマン市による歓迎・ネットワーキング朝食会
		9:00	モンタナ州商務省による州内テクノロジーエコシステム概要説明
		9:30	Montana Photonics & Quantum Alliance (MPQA) によるフォトニクス産業の紹介
		10:30	モンタナ州立大学 QCORE 訪問・量子研究開発施設視察
		12:00	Catalyst Lab Incubator とのネットワーキングランチ
		13:30	Headwaters Tech Hub による量子・フォトニクス産業支援エコシステムの紹介
		15:00	PHIX 社訪問
		16:30	ホテルへ戻り、各自夕食
2026/9/29	火	8:30	Montana Instruments 社訪問
		10:00	Advanced Electronic Designs 社訪問
		11:30	CACI 社訪問
		13:00	昼食
		14:00	モンタナ・日本ピッチフォーラム ※モンタナ州および日本企業・研究機関による量子・フォトニクス分野のプレゼンテーション
		17:00	モンタナ州政府関係者・企業・研究機関とのネットワーキングレセプション（グレッグ・ジアンフォーテ州知事参加予定）

会社訪問先情報

Montana Photonics & Quantum Alliance (MPQA) (9/28 9:30 予定)

Website: <https://www.mpqa.org/>

モンタナ州の光学、フォトニクス、量子技術分野の企業、大学、研究機関を結ぶ非営利団体。産学官連携の促進、事業開発、人材育成、国内外とのネットワーク形成を通じて、州内のフォトニクス・量子産業集積の発展を支援している。ボーズマンを中心に 60 以上の企業・機関が参画

QCORE (9/28 10:30 予定)

Website: <https://msuqcore.org/>

Montana State University (MSU) が運営する量子研究・教育拠点。量子コンピューティング、量子ネットワーク、フォトニクス、低温技術（クライオジェニクス）を融合した研究開発を推進し、産業界や政府機関との連携を通じて量子技術の実用化と人材育成を目指している。米空軍研究所（AFRL）の支援を受けて整備された州内最大級の量子研究インフラである。

MSU Catalyst Lab Incubator (9/28 12:00 予定)

Website: <https://tto.montana.edu/nsf-art/incubator.html>

MSU Catalyst Lab Incubator は、モンタナ州立大学（MSU）の QCORE と NSF ART プログラムが運営するディープテック分野向けインキュベーター。量子技術、フォトニクス、ハードウェアなどの研究開発型スタートアップに対し、試作環境、メンタリング、資金調達などの支援を提供し、大学発技術の事業化を促進している。

Headwaters Tech Hub (9/28 13:30 予定)

Website: <https://www.headwaterstechhub.us/>

米国商務省経済開発局（EDA）の Tech Hubs Program に選定されたモンタナ州主導の地域イノベーションコンソーシアム。フォトニクスを活用した高度センシング技術や自律システム分野で世界的競争力を高めることを目的とし、産業界、大学、部族大学、行政機関などが連携して研究開発、人材育成、事業化を推進している。2024 年には EDA から 4,100 万ドルの実施資金を獲得した。

PHIX (9/28 15:00 予定)

Website: <https://www.phix.com/>

PHIX は、2004 年にオランダ・エンスヘデで設立された、フォトニック集積回路（PIC: Photonic Integrated Circuit）のパッケージングおよび組立分野の世界的リーダー企業である。量子技術、通信、センシング、医療機器など幅広い分野向けに、高度なフォトニクスパッケージング技術を提供し、設計・試作から量産まで一貫した製造サービスを展開している。

同社は、研究開発段階のフォトニクス技術を商業製品へと移行するための重要な技術基盤を提供しており、次世代光技術の実用化を支援している。また、米国経済開発局（EDA）の Tech Hub プログラムの支援を受けて、モンタナ州ボーズマンに PHIX Inc. を設立。米国内におけるフォトニクス製造能力の強化、重要技術サプライチェーンの構築、高付加価値雇用の創出に貢献している。

訪問内容：ボーズマン拠点のラボ施設を視察し、フォトニック集積回路（PIC）のパッケージング技術および製造体制について説明を受ける予定。

Montana Instruments 社 (9/29 8:30 予定)

Website: <https://www.montanainstruments.com/>

世界の量子技術市場で使用される光学クライオスタットを設計・製造。日本では 15 年の実績があり、産業技術総合研究所（AIST）、量子科学技術研究センター（QST）、日本原子力研究開発機構（JAEA）、東京大学、京都大学など、日本を代表する量子技術関連機関に約 100 台のシステムが導入されている。

Advanced Electronic Designs 社 (9/29 10:00 予定)

Website: <https://aed.pro/>

モンタナ州が持つ先端電子工学および製品開発における強みを体現しており、訪問時にはハードウェア、組み込みソフトウェア、FPGA 開発、システム統合における統合的な専門知識を通じて、複雑な電子システムがどのように設計、試作、試験され、製造に向けて準備されるかを学ぶことができる。革新的なコンセプトを迅速に商用製品へと転換する能力は、モンタナ州のスマートセンシング・エコシステムにおける重要な担い手であり、卓越したエンジニアリングと協業による製品開発を求める組織にとって理想的なパートナーとなっている。

CACI 社 (9/29 11:30 予定)

Website: <https://www.caci.com/>

米国バージニア州レストンに本社を置く CACI は、国家安全保障、防衛、情報機関、連邦政府民間機関向けに高度な技術および専門サービスを提供する大手企業。モンタナ州ボーズマンの事業拠点では、ミッションクリティカルな防衛・情報分野の用途を支える先進センシング、リモートセンシング、光電子工学（エレクトロオプティクス）、フォトニクス技術の開発を専門とする拠点。最先端のエンジニアリング、高度な製造技術、システム統合を組み合わせることで、国家安全保障の強化と技術開発の加速を実現する革新的なソリューションの提供。モンタナ州における同社の事業展開は、フォトニクス分野のイノベーション拠点としての州の評価向上を後押しするとともに、地域の先進技術エコシステムの継続的な発展にも貢献。

※現地集合・現地解散型のミッションです。英語で実施しますが一部通訳がつきます。

※現地（ポーズマン）には前日の９月２７日（日曜）までにお入りください。

※原則、全行程へのご参加が条件です。

※訪問都市は追加、変更となる可能性があります。